学校の桜の木

小川未明

青空文庫

ある、小学校の運動場に、一本の大きな桜の木がありました。枝を四方に拡げて、夏になると、その木の下は、日蔭ができて、涼しかったのです。

子供たちは、たくさんその木の下に集まりました。中には、登って、せみを捕ろうとするものがあれば、また、赤くなったさくらんぼを取ろうとするものもありました。

桜の木は、ちょうどお母さんのように、子供たちのするままに委していました。そして、子供たちの、楽しそうに遊ぶようすを見下ろしながら、いつも、にこにこと笑っているように見受けられました。

「太い木だなあ。」といって、無邪気な子供たちは、小さな両手を開いて、太い幹に抱きついて、見上げるものもあれば、「いい木だなあ。」と、いまさらのように、感心して、ながめるものもありました。

年老った木は、かわいらしい子供たちに、こんなことをされるのが、さもこのうえもなくうれしそうでありました。

そのうちに、上のほうの子供たちは、六年の修業を終えて、学校から出てゆきました。そして、また、幼い子供たちが、新しく入ってきました。

その子供たちは、みんながしたように、この桜の木の下で遊びました。桜の木は、春にはらんまんとして、花が咲いたのであります。夏は、また日蔭ができて、そこだけは、どこよりも涼しい風が吹いたのであります。

こうして、長い月日のうちには、いろいろのことがあったでありましょう。たとえば、きかん坊主の秀吉が、先生にしかられて、この運動場に立たされたとき、彼は悲しくなって、泣き出しそうになりました。

そのとき、木は、

「男が、泣くものでない。さあ、私のそばへおいで。」といって、太い自分の体で秀吉を支えてくれました。

また、弱虫の正坊が、足を傷めて、体操を休んだときであります。

「さあ、この日蔭に入って、おとなしくしていな。じきに、そればかしの傷はなおってしまうだろう。はやく元気になって、私の頭の上まで、登る勇気が出なければならん。ここへ上がると、それは、すてきだから。あちらに町が見えるし、また遠い村のお宮の屋根も見えて、いい景色だぜ。」と、桜の木は、やさしく、いってくれたのでありました。

あるときは、生徒たちが、二組に分かれて、競技をしたことがあります。そんな場合には、甲は赤い帽子を被り、乙は白い帽子を被りましたが、一方は、桜の木の右に、一方は桜の木の左にというふうに、陣取りました。そのとき、桜の木は悠々として、右をながめ、左が見下ろして、さも、みんなの元気のいい顔を見るのがうれしそうに、

「さあ、どちらも、しっかりやるのだよ。」と、いっているごとく見えました。

しかし、まれには、いたずら子があって、桜の木の皮をはいだりしました。木は、そんなことをされても、だまっていましたが、木を愛する他の善良な生徒たちは、けっして、だまってはいませんでした。

「君、そんないたずらをするものでないよ。木が、かわいそうじゃないか。」と、いましめました。そう注意されると、たいていの子供たちは、ああわるかったと思いました。

もし、それでも、その生徒がいうことをきかないときは、先生が、ひどくその生徒をしかりました。

「みんなのだいじな木を、おまえは、傷つけていいのか。」と、おっしゃいました。こうして、木もまたみんなから愛されていたのです。

だが、ものには、盛んなときと衰えるときとがあります。この桜の木も、年を老ったせいか、それとも、子供たちに地を堅く踏まれたためか、今年の夏は、たいへんに弱ったのでありました。木が弱ったと知ると、学校じゅうは、たいへんなものでした。先生も、生徒も、小使いもみんな桜の木の身の上を心配しました。

「桜の木が弱っているから、この内へ入ってはいけません。」と、木のまわりにさくを造って縄張りをして、札を立てました。そして、毎日、先生や生徒たちが、はだしで、バケツに水をくんで、運んだりしました。

学校を卒業してしまったものも、昔、自分のお友だちであった、桜の木が弱ったというわさをきくと、心配をして、わざわざみまいにやってきましたので、桜の木は、もう一度、元気となって、はやく、かわいらしい生徒さんたちを見守ろうと思っているのです。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　10」講談社
1977（昭和52）年8月10日第1刷発行
1983（昭和58）年1月19日第6刷発行
※表題は底本では、「学校《がっこう》の桜《さくら》の木《き》」となっています。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：仙酔ゑびす
2012年7月16日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

学校の桜の木

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/